資料提供　１１月５日　１５時

石川県立自然史資料館
担当　杉澤　寿治
金沢市銚子町リ 441
Tel (076) 229-3450
Fax (076) 229-3460

石川県立自然史資料館　特別展

「能登と加賀の里川に棲む魚たち」の開催について

１．概要　　本展では、個性豊かな川の生命の生態と、伝統の鮎毛針が織りなす独自の釣り文化をご紹介します。さらに、能登半島地震が河川生物に与えた影響を、膨大な最新調査資料から徹底検証します。

２．日時　　11 月 7 日（土）～2027 年 1 月 17 日（日）
午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
休館日　年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

３．会場　　石川県立自然史資料館　２階　企画展示室
〒920-1147　金沢市銚子町リ 441 番地

４．主催　　石川県立自然史資料館

５．入場料　無料

６．備考　　添付したチラシをご参照下さい。

問い合わせ先　　石川県立自然史資料館　電話 076-229-3450

※　自然史資料館ホームページ　https://www.n-muse-ishikawa.or.jp/

加賀と能登の豊かな川を舞台に、そこに息づく多様な淡水魚や人々の暮らし、そして最新科学の挑戦をご紹介

石川県立自然史資料館
特別展

能登と加賀の里川に棲む魚たち


清流に棲むカジカ（大型卵）　（荒川氏撮影）


生きた化石カワヤツメ　（荒川氏撮影）


トゲを持つ希少魚トミヨ　（一恩氏撮影）

1 加賀の里川（浅野川）と伝統文化

- **生きもの水槽**：ヤマメ、ゴリ（カジカ）、ドジョウなど里川に見られる魚が元気に泳ぐ姿を観察！
- **伝統の釣り文化**：江戸時代に描かれた浅野川の絵図と、老舗「目細商店」協力のもと、貴重な加賀毛針を展示。浅野川と人々の暮らしの歴史に迫ります。

2 湧水に生きる奇跡の希少魚「トミヨ」

- **トゲを持つ絶滅危惧種**：背中にノコギリ状のトゲを持つ体長約 5cm の希少魚。清らかな湧水環境でしか生きられない生態を詳しく解説。
- **研究成果公開**：石川県立大学 一恩教授の研究成果と貴重な生体展示をご覧ください。

3 能登・町野川「生きた化石」と地震・豪雨からの再生

- **生きた化石 カワヤツメ**：アゴを持たない原始的な生物。1 対の眼と 7 対の鰓孔が「8 つの眼」に見える姿や独特の生態。
- **能登半島地震と豪雨の影響**：地盤隆起と土砂流出による劇的な河川地形の変化、その過酷な環境でたくましく命をつなぐ、魚たちの生態をとらえた最新調査の結果を紹介！

4 未来の技術＆体験ワークショップ

- **最新科学技術「環境 DNA」**：コップ 1 杯の水から何が棲んでいるかがわかる！環境 DNA 分析により魚の種類を特定する最新技術と能登の高校生による調査結果を紹介。
- **ワクワク体験コーナー**：「自分だけの魚をつくろう！魚の立体模型作り」など、大人も子どもも楽しめる参加型展示！

2026 11.7 土 — 2027 1.17 日

休館日：年末年始（12 月 29 日～ 1 月 3 日）
9:00–17:00（入館は 16:30 まで）

入場無料

石川県立自然史資料館 2F 企画展示室

〒920-1147 石川県金沢市銚子町リ 441 番地　TEL：076-229-3450　FAX：076-229-3460
URL：https://www.n-muse-ishikawa.or.jp/